

交 父母だより

三豊市交通安全母の会
2019年3月発行

三豊警察署長 松原 郁雄

交通事故のない安全な三豊市に

三豊市交通安全母の会の皆様方におかれましては、地域や家庭における交通安全思想の普及のため、まさに母親目線のソフトで温かみのある交通安全活動を積極的に展開されているところであり、そのご労苦に対しまして心より敬意を表します。

さて、昨年の交通事故死者数は県下で44人(前年比△4人)、当署管内では4人(前年同数)と、全体では減少傾向が続きました。

しかしながら、県下では年末から年初にかけ、わずか1か月半の間に当署管内の1人を含む13人もの尊い命が交通事故で奪われ、年初には知事の「交通死亡事故多発緊急事態宣言」がなされるなど、極めて憂慮すべき状況となっています。

三豊警察署では、交通事故による犠牲者をこれ以上増やさないため、「よく視て安全さぬき路運動」をスローガンに、交通事故の実態に即した交通指導取締りを行うほか、関係機関・団体と連携して実効性の高い交通安全教育や道路環境の整備等を推進してまいります。

特に一人ひとりの心に響く交通安全教育は、「交通安全は家庭から」を活動指針とする皆様方の取組みに大きな期待を寄せているところであり、「交通事故のない安全な三豊市」を目指して、引き続きお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、三豊市交通安全母の会の皆様方の益々のご活躍を祈念申し上げます。

三豊市長 山下 昭史

三豊市交通安全母の会の会員皆さま方におかれましては、日頃より、交通安全啓発活動等、熱心に取り組まれており、深く敬意を表する次第でございます。

三豊市における交通事故については、平成27年には1ヶ月あたり約35件発生していましたが、平成30年には約20件にまで減少しています。これはひとえに、皆さま方をはじめ、交通安全啓発に携わる多くの方々のご尽力の賜物であり、心から感謝を申し上げます。

しかしながら、状況が改善されたとはいえ、交通死亡事故は毎年発生しており、市内でも尊い命が失われているのが現実です。一人ひとりが更なる注意を払い、思いやりのある運転を心掛けることで交通事故はまだまだ減らす余地があり、かけがえのない命を守ることができるものと信じています。

交通マナーに関しては悪いイメージを抱かれがちな香川県ですが、地域の地道な努力の積み重ねにより、必ず、そのイメージは払拭できます。三豊市は、交通死亡事故ゼロ社会を目指します。そのためには、「交通安全は家庭から」という皆さまのスローガンのとおり、各家庭においても交通安全対策を今一度見つめ直し、地域が一丸となって交通事故の無い社会を目指さなければなりません。

交通安全母の会の今後ますますのご活躍を祈念いたしますとともに、三豊警察署をはじめとした関係機関との強い連携をもって、市民が安全・安心に生活できるまちづくりに一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

三世代ふれ愛交通安全教室

母と子+お祖母さん(交母会員含む)三世代で、毎年夏休みに交通安全教室を開催しています。今年も、市内7町から多数の方々に参加されました。今回テーマは、「自転車事故」について。県内自転車事故数は、2001年から2012年まで、全国連続ワースト1位。中学生の自転車通学は、親として一番の心配事です。「香川県自転車の安全利用に関する条例」も昨年4月1日から施行されました。「ルール遵守とマナーの向上」ヘルメットの正しい着用・一時停止と安全確認・基本ルールを守る、そして「自転車の点検整備」「損害保険の加入」が追加されました。

自分の身も、相手も守り、安全安心社会へ・・・アンケート調査からは、安全教育の大切さや、母親の一生懸命な日々の様子がうかがえて、母親(家庭)から、安全対策・安全意識向上・安全の輪の広がりが繋がっていくよう願っています。講座の中で、教材としてチャイルドビジョンを活用。

交通安全について、年代を超えて、楽しい学習と世代間交流ができました。ありがとうございました。

高齢者世帯訪問事業

高齢者の交通事故防止対策として、高齢者が集うサロンや教室の場に出向き、チラシ・トイレットロールを使い、交通安全啓発を行っています。今後も続けて実施します。ご要望・お問い合わせは、総務課交通担当までお願いします。 総務課 (Tel73-3000)

シートベルトを着用しましょう チャイルドシートを利用しましょう

交通安全母の会 こじかクラブでは、交通安全意識の高揚を図り、交通安全母親活動をより充実させるため、春と秋の「交通安全運動」にあわせ、チャイルドシート着用率調査を実施しています。平成30年度の結果は、春と秋の平均が71.6%でした。昨年より少し良くなっているものの、まだまだ低い結果です。

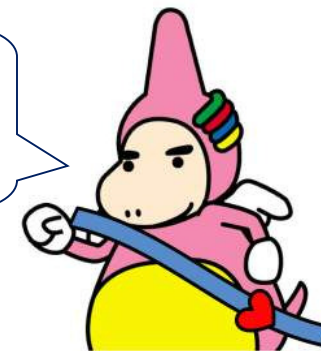
運転者のシートベルト着用はもちろんですが、大切な子どもを守るチャイルドシートを必ず利用してください。

あなたのマナー、大丈夫？

1. 安全速度を必ず守ります。
2. カーブの手前でスピードを落とします。
3. 交差点では必ず安全を確認めます。
4. 一時停止で横断歩行者の安全を守ります。
5. 飲酒運転は絶対にしません。

《安全運転五則》

チャイルドシート
つける習慣 守る愛
いつも見守ってるよ。



■編■集■後■記■

平成最後の交母だよりとなりました。自然災害や人為的危険は、安全を心がけていても、何時おきるかわからない。

安全・安心とは何だろう・・・ しあわせ(豊かさ)思いやり(やさしさ)とは何だろう・・・

命を大切にすることは、自分の命も、相手の命も大切にすること。

我慢できない人が多い今・・・ 何でもありの今・・・

年号が変わる今、少し考えてみませんか。

三豊市交通安全母の会 会長 三木 寿々子

楽しい交通安全教室

勝間幼稚園

先日、勝間幼稚園にて、交通安全母の会の方が交通安全教室をして下さいました。交通安全の紙芝居を真剣に見る子ども達。

「飛び出したらあぶないな」
「右見て、左見て、右見て渡らないかな」と、友達と話をしていました。
絵カードの「ヨイチ君」から正しい道の歩き方、横断の仕方を教えてもらい楽しみながら交通安全に関心を持つことができました。
最後に一人一人にかわいいフクロウの反射ストラップをいただきました。
お家の人に見せた後、カバンにつけています。フクロウのストラップを見ながら交通安全の約束を思い出して出かけていきます。



園外保育に出かけた時は、ヨイチ君との約束を思い出して「ストップ、右よし、左よし、右よし、渡りましょう」と、みんな大きな声で安全の約束をして道路を渡っています。



歩行者が絶対優先！

比地二幼稚園の取り組み



比地二幼稚園では、毎週木曜日、登園時に親子立哨をしています。子どもは大きな声で朝のあいさつをします。保護者は車の確認をし、安全に渡れるように見守ってくれます。道路を渡るときのお約束は、どの子どもも大きな声で言えるようになっていきました。

また、幼児期からの安全意識を高めるために、交通安全母の会より、交通安全紙芝居を毎年していただいています。子どもたち全員で「止まる」「よく見る」「待つ」の3つの約束をしました。プレゼントされたしあわせのフクロウの反射材キーホルダーは、子どもたちのかばんにつけられ、身を守ってくれています。これからも、幼児期から危険な行動や交通ルールについて繰り返し教え、「自分の命は自分で守る」ことを身に付けさせたいと思います。



交通安全の願い

自転車条例シンポジウム

《香川県を「自転車安全王国」にするために》
仁尾 中井 日出子

「子どもの自転車利用の安全教育は家庭から」と題して、基調講演と若年層の自転車マナーをテーマにしたパネルディスカッションがありました。香川県は、一昨年十月二十日に同条例を公布、運転中のスマートフォン操作の禁止、車輛の点検整備、ヘルメットの正しいかぶり方、自転車損害保険への加入など規定しており、昨年四月から施行されました。

その後、NPO法人安全と安心「心のまなびば」（岡山市）の金光義弘理事長による、「思いやりの心を育てることで交通マナーやルールを守ることができる」の講演がありました。ディスカッションでは、広い範囲から交通安全や自転車の団体また高校の担当者の話を聞くことができました。地域に持ちかえり、皆さんとともに「みんなで作ろう自転車安全王国」を目指し、交通安全教育の促進に努めたいと思えました。

香川県交通安全母親活動推進大会

三野 相野 紀美子

十一月九日に、第三十九回の標記大会が開催され、多年母親活動に尽力された団体や個人の表彰に続き、「通学路の安全対策」について研修があり、通学路環境整備・対策・改善の取り組み、標語募集による事故減少等の報告がされました。また、犯罪防止対策として、登下校時の見守り・声掛け、行政や地域の連携した活動をこれからもお願いしたいとの山下犯罪抑止対策官の講話、大会宣言と続きました。依然として高齢者の交通事故死が多く、私たち、各々がルールを守る「交通安全行動」をしなければと感じました。大変、有意義な大会となりました。



思いやりの無事故へ

続く道

反射タスキを使っています

三野 西谷 徳子

最近、物が見えづらく、耳も聞きとりづらくなっておかんきやお花のお稽古など夜間の外出が、少し億劫になってきました。交通安全教室でいただいた反射タスキをつけて出るようにしています。つけると安全だし、しっかり歩いて、相手の車や自転車の人が、私が居るのを早く気づいてスピードを落として通ってくれます。道幅が狭く、車一台がやっと通れるくらいの道、避ける溝に落ちそうで怖かったのが、反射タスキのおかげで、今はとても安心です。夜間の外出には、皆さんも反射タスキを肩にかけませんか！



事故のない社会を



交通安全キャンペーン